

2-13

衝撃のドクターストップ！！タバコ、やめられますか？

「吸いたい」「吸わせてあげたい」理解の難しい利用者への対応

健康の維持

潤いのある生活

特別養護老人ホーム・扇

介護主任 岡本 容子

介護職員 林 啓太

東京都足立区扇1-52-23

フロアー介護職員

TEL 03-3856-1199

E-mail oogi@seifuukai.or.jp

FAX 03-3856-1711

URL http://www.seifuukai.or.jp/

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会福祉法人聖風会が運営する特別養護老人ホームです。荒川沿いにある、のどかな下町の施設です。平成5年4月に開設し、特養76床、ショート4床、デイサービスやヘルパーステーション、ケアマネジメントセンターが併設されています。

〈取り組んだ課題〉

喫煙による体調不良をくり返し、病院へ救急搬送されたヘビースモーカーの女性利用者にドクターストップがかかった。健康被害の理解も難しく、どうしても我慢が出来ず強行手段をとることが日常化される利用者と、その対応に苦慮する介護職員。利用者の気持ちを満たし、潤いのある生活へ導いていきたい。

- 健康を維持する為の観察と医療との連携、減煙等の工夫
- ストレスと対応困難な行動の減少に向けて
- 日課の充実や潤いのある生活スタイルの確立

〈具体的な取り組み〉

- 身体状況の適切な把握
- 医師・看護師との連携を図り、健康状態のパロメーターを定め経過観察
- タバコの種類や禁煙補助剤等の工夫
 - ・ タール数値を徐々に変更
(8mg→6mg→3mg→1mg)
 - ・ タバコを渡すタイミングや1回に渡す本数の調整
 - ・ タバコとニコレットの併用など
 - ・ 氷やあめをなめることでタバコへの欲求を減少
- タバコに固執してしまう要素を抽出し検証
- 趣味や新しい日課の生活への取り込み
- フロアー職員と事務所職員による連携、対応の統一
(1人で外へ買いに行ってしまう為)

〈活動の成果と評価〉

- タバコの種類変更と減煙はある程度成功
- 健康状態の悪化はみられず
- 他利用者から知らぬ間にタール値の高いタバコをもらい吸っていることがあったが把握できていなかった。
- 興味を持てることへの働きかけや日課の工夫をし、生活にリズムや充実感が出来てきた
- 様々な働きかけにより、新たな可能性や一面を引き出すことが出来た。
- 大声で興奮して買いに出ようとするのが減り、表情が穏やかになった。
- 減煙することに対する理解がみられてきた
- 職員の意識の向上。困難な要望に対する利用者対応について、利用者の思いを大切に健康維持の両面から対策を検討

〈今後の課題〉

- 他利用者よりタール値の高いタバコをもらい喫煙する可能性がある
- 継続的な働きかけ
- 加齢に伴う身体状況の変化の観察
- 入居者全員に対する、本人のペースに合わせた余暇の充実や楽しみのある生活